

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 14 日

事務事業名		高齢者学級事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030201000609
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		090601
政策体系	総合計画の施策名	0302 生涯学習・芸術文化活動の推進				主要事業	対象外	所属課	生涯学習課
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進				未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G
	基本事業名	01 生涯学習及び芸術文化活動機会の充実				合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	06	01	00	生涯学習推進事業		
法令根拠						単年度繰返し (年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>旧真壁町の4地区(真壁・紫尾・谷貝・榊橋)から学級生を募り、年6回~7回の学習会を開催する。高齢者に生き甲斐を持った豊かな生活を送ってもらう一助とするのが目的である。</p> <p>【平成28年度実施】 H28.5/20(金) 開級式並びに学習会(交通安全について) 6/16,17(木・金) 陶芸作品作り 7/22(金) 健康づくり(輪投げを楽しむ) 10/14(金) 移動教室(竜神大吊橋・西山荘) 12/2(金) 学習講演会(県西総合病院の整備計画について) H29.1/20(金) 開級式並びに学習会(郷土を学ぶ)</p>	
<p>○事務及び各種学習会に係る運営補助(文書は各地区担当指導員が作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内通知および講師依頼文書の起案 ・庁用バス予約 ・学習会準備補助 ・移動教室の際のバス借りに関する契約事務 ・移動教室への随行 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事務手続き及び各種学習会に係る運営	学習会等開催回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
真壁地区内高齢者	市内高齢者	人	12,599.00	12,882.00	12,850.00	12,900.00	12,900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
学習を通して、毎日元気に過ごしてもらう	学習会等延べ参加人数	人	717.00	800.00	820.00	840.00	840.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	695	719	866	925	925	925
事業費計(A)			695	719	866	925	925	925
量	費	正規職員従事人数	1.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	138.00	173.75	150.00	150.00	150.00	
		人件費計(B)	400	504	435	435	444	
トータルコスト(A)+(B)			1,095	1,223	1,301	1,360	1,369	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	08 報償費	114		08 報償費	150	
	09 旅費	10		09 旅費	8	
	14 使用料及び賃借料	595		14 使用料及び賃借料	708	
	合計	719		合計	866	

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	高齢者学級事業	事務事業No.	30201000609	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢者が生きがいを持って豊かな生活をするために、昭和40年ごろに始まったと思われる。学級開始当時の対象者は60歳以上であったが、現在は65歳以上を対象としている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学級生(対象者)には、陶芸や移動教室が大変好評である。しかし、社会福祉協議会においても高齢者を対象とした事業を開催しており、対象者の中には異なる二つの事業を混同してしまっている方も見受けられる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生涯学習・芸術文化活動の充実に結びついている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者が生きがいを持って生活することにより、健康増進に繋がる
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、真壁地区のみを対象地域としているが、市内の高齢者を対象とすることにより、参加者の増加に繋がる
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が生きがいを感じて生活するための学習の機会がなくなってしまう
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 社会福祉協議会「生き生きサロン」 高齢福祉課から事業委託をしている社会福祉協議会の事業との統合を視野に検討していくべきである
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 移動学習等は、参加者より参加費用を徴収しているが、社会教育指導員の随行は必要となるため人件費の削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象者が真壁地区に限定されているため、市内全域の高齢者を対象とした事業展開をしていくべきであると考え

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高齢者学級は好評であるが、対象が真壁地区のみとされている。市内の高齢者を対象とするか、社会福祉協議会の事業とするか検討が必要である
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象の範囲を拡大するかどうか、社会教育指導員や社会福祉協議会との話し合いが必要である		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---